

## 国際婦人デー東京集会に寄せられた海外からのメッセージ

### 大韓民国からのメッセージ

全世界の女性と手を繋ぎ、3・8国際女性デーの崇高な意志を実現しましょう

在日韓国民民主女性会

反戦平和と女性の権利確立のために日々闘っている皆様に敬意をこめて連帯のあいさつを送ります。

南北・海外同胞は歴史的板門店宣言と九月ピョンヤン宣言の旗を高く掲げ、新しい時代を切り開こうという覚悟と決意をもって立ち上がっています。

わたしたちは、三・一独立記念行事に「海外民主統一人士帰国推進委員会」と「6・15共同宣言実践南側委員会」の協力で参加します。日本をはじめヨーロッパ、米国、中南米の海外同胞が一堂に集い歴史的宣言の実現に向けて統一へ向かう分水嶺を作り出すために開催します。しかし韓統連の議長は反国家団体の代表だとして旅券が発給されませんでした。韓統連の名誉回復は分断体制の克服であり分断積弊勢力を根絶するものです。

三・一独立運動は日帝の植民地政策に反対し、独立万歳を叫び素手で立ち上がりました。平和的なデモに帝国主義者たちは銃剣で血の弾圧をしました。

独立運動の先頭に立った女性と子どもたち。血の教訓から女性独立運動家が育ち、民族の解放と女性解放を掲げ、多くの女性組織が生まれました。わたしたちは日本で三・一独立運動精神を心に刻み運動を前進させてきました。こともあろうに加害者である日本は、暴徒による暴動であると歴史の真実を歪曲してきました。その後、関東大震災時には日本民衆の生活不安のはけ口を在日朝鮮人に向けました。「井戸に毒をいれている」と流言飛語をまき散らし自警団をして朝鮮人を虐殺しました。時には大逆事件をねつ造して日本の良心に死刑執行し、在日朝鮮人を投獄しました。

加害者たる日本政府は被害者の仮面をかぶってその醜悪な姿を今もなお隠しています。今その仮面をはぐとときが来ています。日本は過去を学ぶどころか、差別と蔑視を基調とし朝鮮学校差別・日本軍性奴隷問題―韓日合意の強要・少女像撤去強要・徴用工裁判に対する暴言・南北分断の固定と朝鮮統一運動の妨害などを行なってきました。

日本政府は南北の対立、在日組織の反目を巧妙に逆利用してその解決の道を遠ざけてきました。

南北海外同胞の怒涛のような統一実現の意志と団結した民族の英知で誤った対韓政策をわたしたちの力で変換させていくでしょう。ハノイでの第二回朝米会談では、期待に反してひとつの始まりにとどまりました。沖縄の民意を踏みにじり、辺野古基地移設を強行する日本政府は、朝米会談の成功を喜びません。今後、金正恩委員長の歴史的韓国訪問を機に、南北で合意した宣言がダイナミックに展開されるでしょう。

北東アジアの平和、世界の平和に直結する南北の和解と統一進展を世界が賞賛し、注目しています。わたしたちはその声援に応えるべく自己に課された役割に全身全霊を傾けます。

世界の女性たちよ。手を繋ごう。肩を組もう。

(『思想運動』1039号 2019年4月1日号)